



民医連加盟
保険薬局

はるか通信

No.235 2025年2月号

発行:株式会社 あゆみ調剤 はるか薬局

はるか通信編集委員会

北海道釧路市治水町6-2

TEL 0154-31-7811・FAX 0154-31-7773

<http://www.a-haruka.co.jp/>

薬科大学・薬学部奨学生を 募集しています



大学入学共通テストも終わり、学生のみなさんは2次試験やそれぞれの進路に向けて日夜励んでいる時期でしょうか。今年はインフルエンザが大流行し、感染予防・家庭内での隔離など、大変苦勞なさっていることと思います。希望の進路が拓けて笑顔の春を迎えられるよう願っております。

さて、はるか薬局では薬科大・薬学部に進学見込の学生、または現在在籍中の方を対象に、奨学生制度を設けています。1・2年生は月4万円、3・4年生は月5万円、5・6年生は月6万円で、お貸した月数を薬剤師として勤務していただくことにより、返済免除となります。

はるか薬局の奨学金制度は学年の途中でも受け付けます。

また、はるか薬局では薬局内や病院薬局の見学・体験を受け入れております。

お知り合いもぜひ、ご紹介ください。

●お問合せ／はるか薬局：菅原 ☎(0154)31-7811〈9:00～17:00〉

インフルエンザについて

今年は近年ではかつてない程にインフルエンザが流行しています。今回は、インフルエンザの症状・治療・予防も含めたお話です。



インフルエンザとは

インフルエンザとはインフルエンザウイルスの感染によっておこる病気です。くしゃみやつばなどの飛沫と共に放出されたウイルスを吸いこむことによって感染します。インフルエンザウイルスは、大きく分けてA型・B型・C型・D型の4種類に分類されます。

なお、ヒトの世界で流行的な広がりを見せるのはA型・B型の2種類になりますが、これらの症状や治療、予防法には大きな違いはありません。

インフルエンザとかぜの症状

通常、かぜでは初め鼻づまりや鼻水、のどの痛みなどの症状が出て、それから徐々に発熱(37℃程度)などの症状が起こります。一方、インフルエンザは症状が出るのが急で激しいことが特徴です。まず、発熱(38~39℃と高熱になる)に始まり、それと同時に頭痛、関節の痛み、全身のだるさなど全身症状が強くあらわれます。その後、咳・鼻水などの症状が出てきます。

その後、気管支炎、肺炎、小児ではまれに急性脳症の合併症を引き起こし重症化することもあります。特に、高齢者、呼吸器や心臓に慢性の病気を持つ人は重症化することが多いので十分注意する必要があります。

治療について

インフルエンザにかかってしまったら、安静と十分な水分摂取が第一となります。十分な体力と免疫力があれば、大半の人は特に治療を行わなくても1~2週間で自然に治ります。ただし、合併症などの危険性も考えると、単なるかぜだと軽く考えずに早めに医療機関に相談しましょう。

治療薬について

治療薬としては、オセルタミビル(商品名:タミフルなど)、ザナミビル(吸入薬:商品名:リレンザ)などがあります。これらの薬は、ウイルスの増殖を抑えインフルエンザからの回復を早めてくれる薬です。

なお、インフルエンザの症状発現から48時間以内に服用しないと効果が弱まってしまうます。その他、症状に応じて漢方薬や解熱鎮痛剤、抗ヒスタミン剤、鎮咳剤、去痰剤などが用いられることがあります。

予防法について

かぜもインフルエンザも ①暑さ、寒さなどの温度変化 ②ウイルス ③睡眠不足 ④栄養不足 の4つの原因が重なっておくとされています。

つまり、この原因をなくすことが一番の予防となります。

●日ごろからバランスのとれた食事と十分な睡眠を心がけること。

●室内の温度、湿度を適度に保つ

※適度な湿度(50~60%が目安)があるとインフルエンザウイルスなどが室内で増えることが出来ません。また乾燥によるのどの粘膜の防御機能の低下も防ぎます。部屋の換気を定期的に行うことも大切です。

●外へ出るときは防寒をきっちりとしてマスクをつける。

帰ってきたら手洗い、うがいをする。

(顔などの皮膚や毛穴などにもウイルスは付着するので手洗い、うがいのみでなく洗顔やシャワーも効果的です。)

●予防接種を受ける

※予防接種は、完全な発症の予防にはなりません、高熱などの症状を軽くし、合併症による死亡や入院を減らすことができるといわれています。

そのため、65歳以上の高齢者、基礎疾患があり身の回りの生活を極度に制限される方、免疫力の弱っている方などに接種が勧められています。予防接種は、おおよそ5ヶ月間は有効であるとされています。

※以上のような予防法などを再度確認・実践し、猛威を振るっているインフルエンザにまけずに乗り切ってください!

(参考:厚生労働省ホームページ)

薬剤師:市川 正人



軟膏・水剤容器の費用について



これまで当薬局では軟膏などの外用薬、シロップ剤などの内服用液剤の容器、一部の点眼薬・点鼻薬などを調剤する際に必要な容器を無償で提供させていただいておりましたが、令和6年度調剤報酬改定や昨今のプラスチック製剤の原材料価格の高騰などの影響を受け、令和7年1月4日より一部ご負担を頂くことになりました。日頃よりご愛顧を賜っております患者様各位には、ご負担とご迷惑をおかけいたしますが、どうかご理解いただきますようお願い申し上げます。

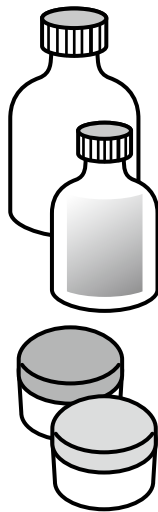
薬剤の容器代

【水剤容器】

大きさに関わらず

1個につき50円

(スポイト・メモリ付薬盃含む)



※適切な大きさの容器が無いなど、薬局の都合で2個以上の容器に分ける場合は1個分の代金のみ頂きます。
※患者様の都合で複数個の容器に分ける場合は個数分の代金を頂きます。

【軟膏容器】

50g未満の大きさ

1個につき30円

50g以上の大きさ

1個につき50円

はるか通信
公式LINE
友だち
募集中!



マイナ保険証での受付および、電子処方箋の受付対応しています。

臨時休業日および臨時開局日のお知らせ

臨時休業日

都合により、下記日程で臨時休業となります。

2月22日☹

ご迷惑おかけしますがご理解ください。

臨時開局日

当番病院の処方応需のため以下を臨時開局日とします。

当番病院処方の対応が優先となりますのでご理解の上ご利用ください。

2月2日☺、2月23日☺、3月2日☺、3月23日☺

営業時間/9:00~17:00

～はるか薬局緊急時電話番号～



0154-31-7811または
090-3775-3026

夜間、日曜日等の閉店時で緊急の対応を要する場合がございます。



お知り合いの薬剤師・薬学生の方を
ご紹介下さい 奨学金制度もあります

※詳しくは、あゆみ調剤までご連絡下さい。

☎ 0154-31-7811